

防災力 人の輪 知恵の輪 地域の輪

「地域防災の日」の12月1日、市内全域で連合自治会や単位自治会の自主防災会が、地域の特性に応じた自主的な訓練を実施します。

今年の地域防災訓練は、南海トラフ巨大地震が突然発生し、最大震度6強の揺れに襲われ、沿岸部には大きな津波が襲来したとの想定で行います。この訓練では、自主防災会が中心となって、地域の特性に応じた実践的な訓練を実施するとともに、自助・共助を主とした地域の防災体制の強化を目的としています。

1 日時

- | | |
|----------|---------------|
| 12月1日(日) | 9時00分～11時00分 |
| ※ 同報無線広報 | 9時00分 地震発生 |
| | 9時03分 大津波警報発表 |
| | 11時00分 訓練終了 |

2 会場

- 主な会場型訓練
我入道公園（第三地区我入道連合自主防災会）
第四小学校（第四地区西連合自主防災会）
山王公園（第五南地区連合自主防災会）
- 単位自主防災会訓練
市内各所において自主防災会単位で実施される訓練



3 訓練の特色

- (1) 地域の自主防災会が、それぞれの地域特性に応じ主体的に計画し実施
- (2) 265 自主防災会等、約 30,000 人が参加予定
- (3) 中・高生が参加できるように、昨年に引き続き学校へ周知し、救助・応急救護訓練等に積極的に参加する。
(昨年度、中・高生参加実績：4,118 人)

4 特色ある訓練地区等

- (1) 第三地区我入道連合自主防災会
煙体験、搬送訓練を実施した後高台への避難行動を確認する津波避難シミュレーションを実施する。
- (2) 第五南地区連合自主防災会
地域住民が防災について語り合う、防災井戸端会議等を実施する。
- (3) 戸田地区連合自主防災会
ビーコンを使用した避難訓練を実施
- (4) その他
各自主防災会では、それぞれ趣向を凝らし、人間 HUG 訓練、災害時の安否確認を迅速に行なう黄色いハンカチ作戦、歩行困難者をリヤカーで搬送する訓練、など自主防災会ごとに企画した訓練を実施する。

令和元年度 沼津市地域防災訓練実施計画 (特徴のある訓練のみ抜粋)

自主防災会	訓練内容
第三我入道連合自治会	我入道公園にて会場型訓練実施 (消火訓練、応急救護訓練、津波避難シュミレーション訓練、資機材の展示、ドローン)
第四地区西連合自治会	第四小学校にて会場型訓練実施 (消火訓練、応急救護訓練、避難生活訓練【簡易トイレ、間仕切り設営】、自衛隊炊き出し・車両の展示、起震車、ドローン)
第五南地区連合自治会	山王公園にて会場型訓練実施 (消火器訓練、応急救護訓練、可搬ポンプ取り扱い訓練、濾水装置取り扱い訓練、井戸端会議)
第五東西地区連合自治会	聴覚支援、視覚支援、加藤学園、第五小、第五中、市立高にて会場型訓練実施 避難誘導、給食給水、炊き出し、資機材の確認、安否確認
大岡日吉自主防災会 大岡木瀬川自主防災会 大岡下石田自主防災会 平和郷自主防災会 大岡団地自主防災会	大岡南小にて中学一年生主体の「人間HUG」、ほか各自治会にて訓練実施
戸田連合自主防災会	東京大学の加藤教授を招き、ビーコンを使用した避難訓練を実施
共栄町自主防災会	避難所受付、案内
西沢田自主防災会	黄色いハンカチ作戦
志下自主防災会	常葉大学教授を招いての防災講話
明電町自主防災会	備蓄品の説明
寿町自主防災会	AED操作訓練
八幡町自主防災会	黄色いタオル作戦
大平十区自主防災会	防災講話(防災用品、生活用品の備蓄、応急救護、情報確認、火災対策)
柳町自主防災会	新聞紙を使用した食器とスリッパの作成
松下町自主防災会	学校と連携、より実践的な訓練の実施
柏葉尾自主防災会	安否確認訓練
江原町自主防災会	クロスロード
中尾自主防災会	安否確認訓練
雲雀台自主防災会	非常用物資、要支援者搬送用リアカー組み立て
下石田自主防災会	段ボールベット組み立て
原新田自主防災会	簡易トイレ設営
西町二区自主防災会	災害時資機材保管場所確認
高沢町自主防災会	ペット同行避難、トイレの使用方法
沼津南部浄化センター	自衛隊ヘリ離着陸誘導訓練